

Avery Dennison[®] DOL 2080

オーバーラミネートフィルム (ハイグレード)

特長

- 上品なマット仕上げ
- 優れた UV 耐性と耐摩耗性を実現

製品構成



表面基材:
80 μm
透明 / マット
ポリメリックカレンダー塩ビ



粘着剤:
アクリル系強粘着
透明



剥離材:
片面コート紙



耐候性:
最長 5 年間
(弊社試験の結果に基づき
予測される年数であり、
保証年数ではありません)

印刷・加工方式

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> フラットベッド式カット | <input checked="" type="checkbox"/> 感圧ラミネート |
| <input type="checkbox"/> フリクションフィード式カット | <input type="checkbox"/> 静電式プリント |
| <input type="checkbox"/> ダイカット | <input type="checkbox"/> 水性インクジェット |
| <input type="checkbox"/> 熱転写式プリント | <input type="checkbox"/> 溶剤系インクジェット |
| <input type="checkbox"/> スクリーン印刷 | <input type="checkbox"/> UV 硬化型インクジェット |

アプリケーション

- 看板
- 広告
- 車両
- ウィンドウ装飾
- フロアサイン

使用目的

Avery Dennison[®] DOL 2080 は、柔軟性がある高品質ポリメリックカレンダー塩ビのオーバーラミネートフィルムです。平面や単純な曲面に施工する中長期の屋外メディアに最適です。

物理特性

基本情報

厚み (表面基材のみ)	ISO 534	80 µm
厚み (表面基材+粘着剤)	ISO 534	100 µm
光沢	ISO 2813、85°	75%
粘着力 (初期値)	FTM-1 (180° 剥離)、対ステンレス	500 N/m
粘着力 (最大値)	FTM-1 (180° 剥離)、対ステンレス	600 N/m
保管期間	23° C、50 ~ 55%RH 環境下	1 年 (半年以内の使用をお勧め致します)
耐候性 **	屋外垂直面での暴露	最長 5 年間

使用温度範囲

加工時の温度	ユーザーマニュアルをご参照ください
使用温度	- 40 ~ 80°C

耐薬品性

大半の弱酸性物、弱アルカリおよび塩に耐性あり

大切なお知らせ

物理特性における情報は信頼性の高い試験に基づいて行われております。なお、本書に記載されている数値は標準値であり、保証値ではありません。購入者はその使用目的に関わらず、製品の適合性を検証するようお願いいたします。

また記載の技術データは、予告なしに変更されることがあります。

保証

Avery Dennison® ブランドの製品は、入念な品質管理のもとで製造されており、その材質および仕上がりに欠陥がないことを保証いたします。販売時に、不具合が見つかった場合には無償にて交換いたします。いかなる状況においても、当社の購入者に対する債務総額は欠陥製品代金を上回ることはありません。販売員、販売代理人または代理店には、これらの保証を与えたり、または意義を唱えたりする権限は一切ございません。

Avery Dennison®ブランドの製品は、当社の販売条件の規約の1つでもある上記の条件を順守したうえで販売しております。また必要に応じ、当社規約の写しをご用意いたします。

**耐候性

耐候性は、アジア太平洋地域での気候条件をもとにしております。実際の性能寿命は、被着体の状態、使用環境ならびに製品のメンテナンス状態によって異なります。例えば標識が、北半球の南部または南半球の北部などの高温地帯や、産業汚染地域または高地にて長時間使用される場合には、製品の耐候性は低下いたします。

試験方法

寸法安定性:

150 x 150 mm のアルミニウムへサンプルを貼付し、+ 70°C、48 時間加熱後のサンプル収縮を測定。

粘着力:

ステンレスまたはフロートガラスへサンプルを貼付し、24 時間後に 180° の角度で本製品を剥がした場合の粘着力。初期値の粘着力は、サンプル貼付から 20 分後に測定。

可燃性:

アルミニウムへ貼付したサンプルをガスバーナーの炎にて 15 秒間燃やす。炎をフィルムから離してから 15 秒以内に鎮火していることを確認。

使用温度範囲:

ステンレスへ貼付したサンプルを高温および低温にさらした後、室温に戻す。室温に戻してから 1 時間後、サンプルの劣化の有無を検査。

注記: 溶剤、酸性物質、染料といった化学物質が残留した状態で製品を長時間露出することにより、製品に想定外の劣化が見られることがあります。

耐薬品性:

テスト用パネルへ添付後 72 時間経過したサンプルを、試験用の薬品へ一定時間浸す。サンプルを薬品より取り出した 1 時間後にサンプルの劣化状態を検査。

耐食性:

アルミニウムへ貼付したサンプルを 35°C の塩性ミスト (塩分 5%) にさらす。暴露後、サンプルが剥離されたアルミニウムへ錆の痕跡がないか検査。